

福島再生加速化交付金(福島定住等緊急支援)  
/福島定住等緊急支援交付金

定住緊急支援事業計画の実績に関する評価

平成30年12月  
福島県 郡山市

(様式1)

## 定住緊急支援事業計画に基づく事業等の評価一覧

平成30年12月時点

1)事業の実施概要

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	基幹/ 効果促進	事業 実施 主体	全体事業費 (注3)	全体事業 期間 (注4)	年度事業費(注5)					評価 実施時期(注6)	その他
								平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
1	A - 1 - 1	郡山市立保育所施設遊具更新事業	郡山市立芳賀保育所外21施設	基幹	市	(217,093) 217,093	25	(217,093) 217,093					平成30年12月	
2	◆ A - 1 - 1 - 1	屋外遊具活用促進事業	郡山市立保育所	効果促進	市	(41) 41	25	(41) 41					平成30年12月	
3	A - 1 - 2	郡山市希望ヶ丘児童センター遊具更新事業	郡山市希望ヶ丘児童センター	基幹	市	(13,954) 13,954	25	(13,954) 13,954					平成30年12月	
4	A - 1 - 3	郡山市立小学校施設遊具更新事業	郡山市立桃見台小学校外21校	基幹	市	(61,645) 61,645	25	(61,645) 61,645					平成30年12月	
5	A - 1 - 4	郡山市公園施設遊具更新事業	開成山公園外6施設	基幹	市	(243,611) 243,611	25	(243,611) 243,611					平成30年12月	
6	A - 1 - 5	郡山市私立幼稚園・民間認可保育所施設遊具更新事業	希望ヶ丘幼稚園外9施設	基幹	市	(94,672) 94,672	25 ~ 26		(94,672) 94,672				平成30年12月	
7	A - 1 - 6	郡山市私立幼稚園・民間認可保育所施設遊具更新事業(その2)	エムポリアム幼稚園外7施設	基幹	市	(86,947) 86,947	25 ~ 26		(86,947) 86,947				平成30年12月	
8	B - 1 - 1	郡山市屋内水泳場整備事業	開成山水泳場	基幹	市	(3,665,712) 4,313,408	26 ~ 29		(134,385) 134,385	(1,731,525) 2,067,810	(606,715) 723,390	(1,193,087) 1,387,823	平成30年12月	
9	A - 1 - 7	郡山市私立幼稚園・民間認可保育所施設遊具更新事業(その3)	富久山西幼稚園外6施設	基幹	市	(122,650) 122,650	26		(122,650) 122,650				平成30年12月	
10	C - 1 - 1	郡山市屋根付き多目的グラウンド整備事業	郡山カルチャーパーク	基幹	市	(583,997) 583,997	26 ~ 28		(2,378) 2,378	(298,593) 298,593	(283,006) 283,006		平成30年12月	
11	C - 1 - 2	郡山市都市公園施設新設・改築事業	大安場史跡公園外2施設	基幹	市	(878,753) 878,753	26 ~ 28		(29,174) 29,174	(401,520) 401,520	(448,059) 448,059		平成30年12月	

2) 事業計画に記載した地域の復興における支障の解決に係る目標(注7)											
指標	従前値		目標値		実施後の値		達成度	モニタリング方法	効果発現要因 (総合所見)	今後の対応	備考(注8)
	基準年度		基準年度	目標年度	確認年度						
目標1 市内小学生・未就学児の外遊びや運動機会の増加 (外遊び・運動回数の増加)	平日に運動等を行わない割合 未就学児:56.6% 小学生:21.4%	H25	未就学児:20% 小学生:10%	H30	平日に運動等を行わない割合 未就学児:41.5% 小学生:17.7% 【H29年度最新データ】	H30	52%	NPO法人によるアンケート調査	遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、平日に運動を行う機会の増加を確認	遊具の安全性や各施設の紹介を広報や市ウェブサイト等を通じて広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びや運動機会の増加への対応を図るなど、今後もフォローアップを継続する。	A-1-1~7 B-1-1 C-1-1.2
目標2 市内小中学生・未就学児の体力向上 (運動能力の向上)	未就学児:体力テスト8種目の数値 小中学生:体力テスト8種目の数値	H25	各階層のおおよそ8割の項目において基準年度の数値を上回る	H30	未就学児:6種目中6種目達成 小学生:8種目中7種目達成 中学生:8種目中7種目達成 【H29年度最新データ】	H30	113%	市教育委員会による調査 市子ども部による調査	未就学児、小・中学生ともにほぼ全ての項目で従前の数値を上回っていることを確認	目標を達成したが、更なる成果を挙げられるよう引き続き支援を行う。	A-1-1~7 B-1-1 C-1-1.2
目標3 市内小中学生の健康増進 (肥満傾向児(身長別標準体重20%超)の減少)	小学生:11.0% 中学生:10.3%	H25	小学生:9.5% 中学生:8.0%	H30	小学生:10.7% 中学生:11.2% 【H29年度最新データ】	H30	80%	市教育委員会による調査	遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、小学生の運動機会の増加を確認	遊具の安全性や各施設の紹介を広報や市ウェブサイト等を通じて広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びや運動機会の増加への対応を図るなど、今後もフォローアップを継続する。	A-1-1~7 B-1-1 C-1-1.2
目標4 小学生以下の自主避難者の帰還促進 (自主避難者数の減少)	1,844人(H25.10現在)	H25	1,500人	H30	912人(H30.10月現在)	H30	164%	「全国避難者情報システム」における自主避難者数	「全国避難者情報システム」における自主避難者数の減を確認。	目標を達成したが、更なる成果を挙げられるよう引き続き支援を行う。	A-1-1~7 B-1-1 C-1-1.2
目標5											

3) その他目標(2)に掲げたもの以外の目標(注7)

指標	従前値		目標値		実施後の値		達成度	モニタリング方法	効果発現要因 (総合所見)	今後の対応	備考(注8)
	基準年度		基準年度	目標年度	確認年度						
目標1											
目標2											
目標3											
目標4											
目標5											

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は定住緊急支援事業計画に記載された事業名を記載する。

(注3)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費と交付対象事業費をそれぞれ記載する(交付対象事業費は()で記載)。

(注4)「全体事業期間」は、事業着手年度から全ての事業内容が完了する年度までを記載する。

(注5)「年度事業費」は、事業着手から事業完了年度までの各年度の交付対象事業費と全ての事業費の実績額をそれぞれ記載する(交付対象事業費は()で記載)。

(注6)「評価実施時期」は、定住緊急支援事業計画に基づく事業等が完了した日の属する年度の翌年度の12月末日までの実施した時期を記載する。

(注7)2)には定住緊急支援計画に記載した内容を、3)には定住緊急支援計画上全く記載をしていないものの、今回の整備により期待される効果があれば記載する。

なお、A-1-B-1.2-C-1事業については、子どもたちが十分に運動する機会の確保の観点、C-2-C-3については子育て世帯の定住に資する観点から、維持管理や運営の視点、ソフト事業との相乗効果などの面も含め目標を記載する。

(注8)「備考」の欄には、当該目標の評価対象となる事業番号を記載する。

(様式2)

# 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

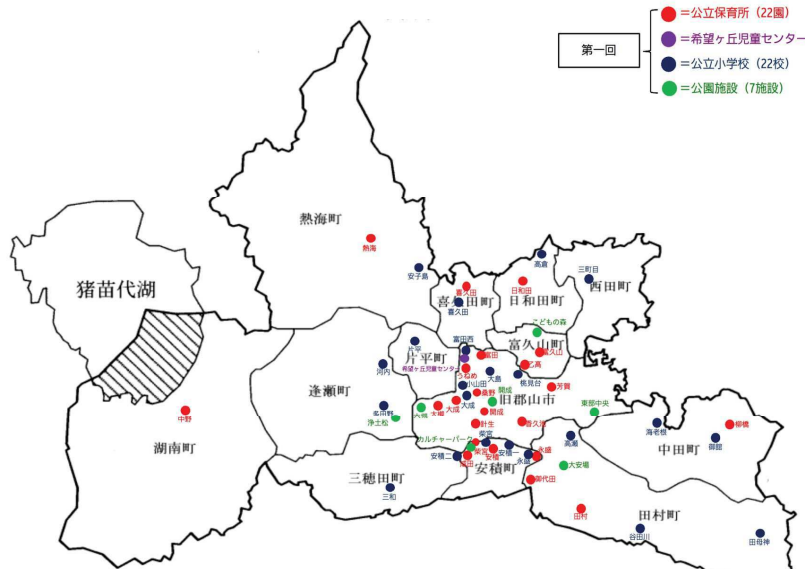
県名	福島県	交付期間	平成25年度	交付対象事業費	217,134
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	A-1-1、A-1-1-1

## 1)事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内の保育所22施設、児童センター1施設、小学校22施設及び都市公園等7施設における鉄棒、ジャングルジム等の遊具の更新を実施することにより、市内の子どもの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもたちの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

### 【区域全体図】



### 【事業詳細】

#### (1)事業概要

公立保育所(22施設)において、遊具の更新を実施することで、遊具を使用することに対する不安を解消し、原子力災害発生以前のように、思う存分運動することができる通常の保育活動を確保し、子どもたちの運動能力の回復や避難者の帰還促進を図る。

併せて、事業実施の効果をより高めるために、市児保育所の保育士を対象に、有識者による遊具を使用した効果的な運動方法に関する講習会を開催するとともに、その方法について、広報や市ウェブサイト等により、広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの運動能力の回復を図る一助とする。

#### (2)事業の実施状況

除染及び本事業の遊具更新により児童が安心して外遊びができる環境が整い積極的に外遊びを行っている。

また、遊具を使用した効果的な運動方法の講習会を実施し、各施設において児童への効果的な運動を実践している。

(3)人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。

○平日に運動等を全く行わない割合 :【H25】未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒ 【H29】未就学児:41.5%、小学生:17.7%  
 ○体力テストの数値 :【H25】(別添のとおり) ⇒ 【H29】未就学児:6種目中6種目で向上  
 小学生:8種目中7種目で向上

#### (3)人口流出

○小学生以下の自主避難数 :【H25.10】1,844人 ⇒ 【H30.10】912人

○肥満傾向児(身長別標準体重20%超):【H25】小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒ 【H29】小学生:10.7%、中学生:11.2%

#### (4)その他

- 保育士等を対象に、効果的な運動機能の方法について講習会を実施
  - ・「屋外遊具(鉄棒)を活用した効果的な運動について」平成26年2月20日  
講師 安積第三小学校教諭 草野 節男氏、Pep Kidds Koriyamaプレイヤー 阿部 直樹氏
  - ・「幼児期における運動遊びの大切さについて」平成26年3月8日  
講師 山梨大学教授 中村 和彦氏
- 11/29 市附属機関「子ども子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定
- 施設の利用状況及び講習会写真



### 事業計画推進による効果・変化(注2)

各施設において外遊びを行う子ども達の姿が増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

遊具の安全性を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びへの対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

# 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

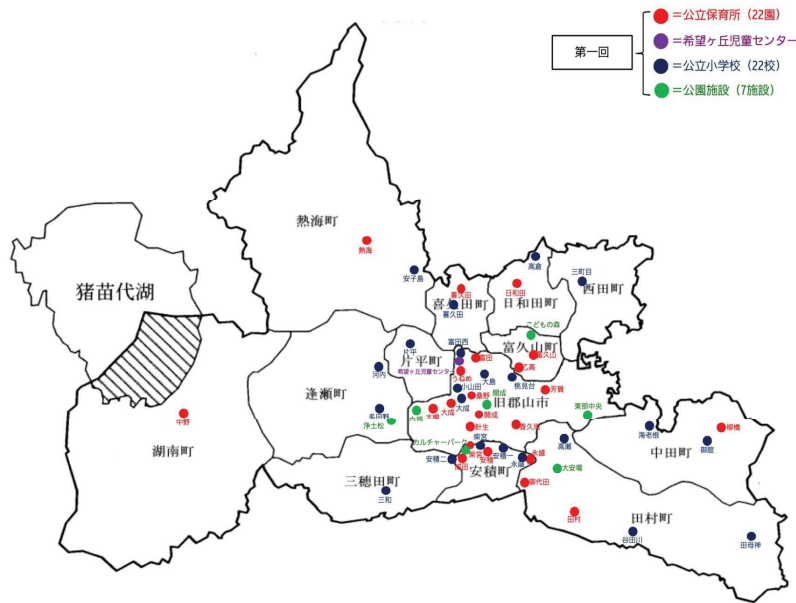
県名	福島県	交付期間	平成25年度	交付対象事業費	13,954
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	A-1-2

## 1)事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内の保育所22施設、児童センター1施設、小学校22施設及び都市公園等7施設における鉄棒、ジャングルジム等の遊具の更新を実施することにより、市内の子どもの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもたちの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

### 【区域全体図】



### 【事業詳細】

#### (1)事業概要

児童センターにおいて、遊具の更新を実施することで、遊具を使用することに対する不安を解消し、原子力災害発生以前のように、思う存分運動することができる平常の活動環境を確保し、子どもたちの運動能力の回復や避難者の帰還促進を図る。

#### (2)事業の実施状況

児童センターの利用者数 【H25】1,165人/月 ⇒ 【H26】1,318人/月(12月時点) ⇒ 【H29】1,141人/月  
⇒ 【H30】1,236人/月(10月末現在)

センターまつりの参加者 【H25】414人 ⇒ 【H26】455人 ⇒ 【H29】365人 ⇒ 【H30】471人

#### (3)人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。

○平日に運動等を全く行わない割合 :【H25】未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒ 【H29】未就学児:41.5%、小学生:17.7%  
○体力テストの数値 :【H25】(別添のとおり) ⇒ 【H29】未就学児:6種目中6種目で向上  
小学生:8種目中7種目で向上

○小学生以下の自主避難者数 :【H25.10】1,844人 ⇒ 【H30.10】912人  
○肥満傾向児(身長別標準体重20%超):【H25】小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒ 【H29】小学生:10.7%、中学生:11.2%

#### (4)その他

○11/29 市附属機関「子ども・子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定  
○施設の利用状況写真 ①ぶらんこ利用 ②複合遊具利用



### 事業計画推進による効果・変化(注2)

各施設において外遊びを行う子ども達の姿が増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

遊具の安全性を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びへの対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

# 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

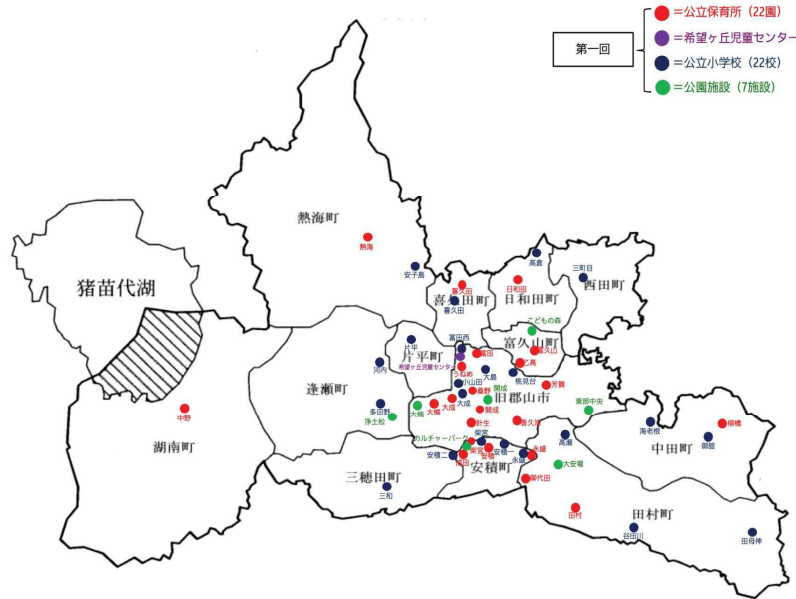
県名	福島県	交付期間	平成25年度	交付対象事業費	61,645
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	A-1-3

## 1)事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内の保育所22施設、児童センター1施設、小学校22施設及び都市公園等7施設における鉄棒、ジャングルジム等の遊具の更新を実施することにより、市内の子どもの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

### 【区域全体図】



### 【事業詳細】

- (1)事業概要  
公立小学校(22校)において、遊具の更新を実施することで、遊具を使用することに対する不安を解消し、原子力災害発生以前のように、思う存分運動することができる平常の教育環境を確保し、子どもたちの運動能力の回復や避難者の帰還促進を図る。
- (2)事業の実施状況  
更新前は錆が浮くなど外観上問題があり使用に不安を感じさせていた遊具が生まれ変わったことにより、当該遊具を使用する人数、頻度、時間ともに増加し、それに伴い、子どもたちの外遊びの時間も増加している。また、更新した遊具については、当該遊具の設置してある小学校の児童のみならず、地域の未就学児を含めた子どもたちが放課後や休日等に利用に訪れることもあり、本市の子どもの運動能力向上に寄与するものと考えられる。
- (3)人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載  
遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。  
○平日に運動等を全く行わない割合 :【H25】未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒ 【H29】未就学児:41.5%、小学生:17.7%  
○体カテストの数値 :【H25】(別添のとおり) ⇒ 【H29】未就学児:6種目中6種目で向上  
小学生:8種目中7種目で向上  
○小学生以下の自主避難者数 :【H25.10】1,844人 ⇒ 【H30.10】912人  
○肥満傾向児(身長別標準体重20%超) :【H25】小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒ 【H29】小学生:10.7%、中学生:11.2%
- (4)その他  
○11/29 市附属機関「子ども・子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定  
○施設の利用状況写真  
①高瀬小学校 ②喜久田小学校 ③三和小学校 ④柴宮小学校



### 事業計画推進による効果・変化(注2)

各施設において外遊びを行う子ども達の姿が増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

遊具の安全性を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びへの対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

### 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

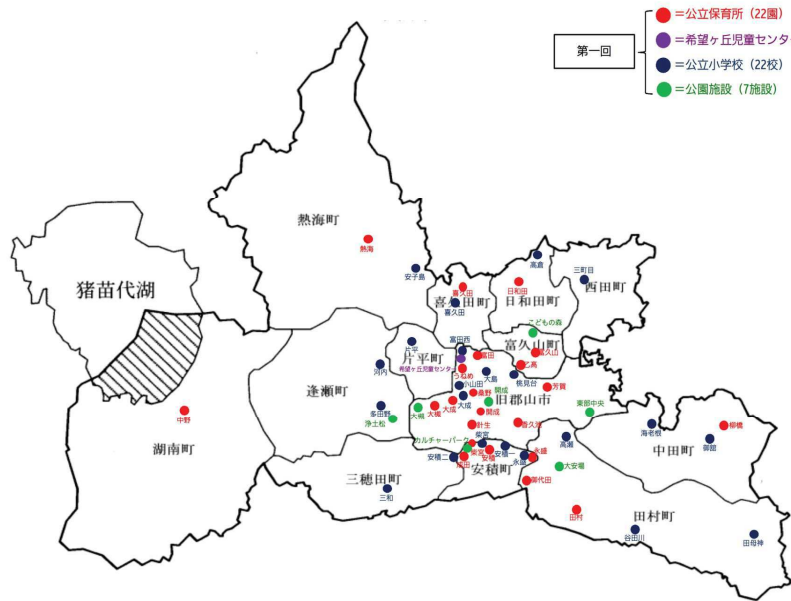
県名	福島県	交付期間	平成25年度	交付対象事業費	243,611
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	A-1-4

#### 1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内の保育所22施設、児童センター1施設、小学校22施設及び都市公園等7施設における鉄棒、ジャングルジム等の遊具の更新を実施することにより、市内の子どもたちの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもたちの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

#### 【区域全体図】



#### 【事業詳細】

- (1) 事業概要  
公園(7施設)において、遊具の更新を実施することで、遊具を使用することに対する不安を解消し、原子力災害発生以前のように、思う存分運動することができる平常の外遊び活動を確保し、子どもたちの運動能力の回復や避難者の帰還促進を図る。
- (2) 事業の実施状況  
公園(7施設)の工事が完了し、更新された遊具は多くの子どもたちに利用されている。
- (3) 人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載  
遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。  
○平日に運動等を全く行わない割合 : [H25]未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒ [H29]未就学児:41.5%、小学生:17.7%  
○体カテストの数値 : [H25](別添のとおり) ⇒ [H29]未就学児:6種目中6種目で向上  
小学生:8種目中7種目で向上  
○小学生以下の自主避難者数 : [H25.10]1,844人 ⇒ [H30.10]912人  
○肥満傾向児(身長別標準体重20%超) : [H25]小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒ [H29]小学生:10.7%、中学生:11.2%
- (4) その他  
○11/29 市附属機関「子ども・子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定  
○施設の利用状況写真  
①開成山公園 ②郡山カルチャーパーク



#### 事業計画推進による効果・変化(注2)

各施設において外遊びを行う子ども達の姿が増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

#### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

遊具の安全性を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びへの対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1) 様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2) 様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

# 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

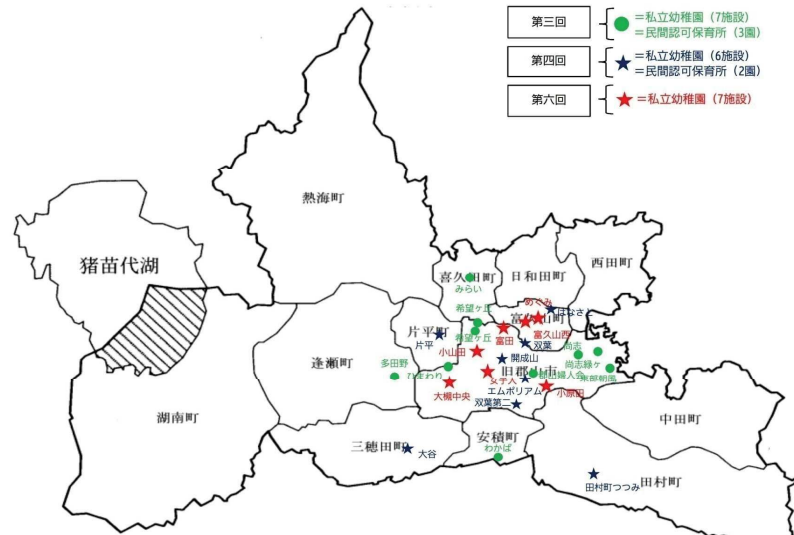
県名	福島県	交付期間	平成25～26年度	交付対象事業費	94,672
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	A-1-5

## 1)事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内の私立幼稚園7施設及び民間認可保育所3施設における鉄棒、ジャングルジム等の遊具の更新を実施することにより、市内の子どもたちの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもたちの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

### 【区域全体図】



### 【事業詳細】

#### (1)事業概要

私立幼稚園7施設及び民間認可保育所3施設において、遊具の更新を実施することで、遊具を使用することに対する不安を解消し、原子力災害発生以前のように、思う存分運動することができる通常の保育活動を確保し、子どもたちの運動能力の回復や避難者の帰還促進を図る。

#### (2)事業の実施状況

除染及び本事業の遊具更新により児童が安心して外遊びができる環境が整い積極的に外遊びを行っている。幼稚園教諭や保育士の研修会においても運動遊びや指導法などの研修等を実施し、各施設で遊具を有効に活用して、児童の体力・運動能力の向上を実践している。また、職員在園時間のなかで遊具の地域開放を行っている。

#### (3)人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

- 遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。
- 平日に運動等を全く行わない割合 :【H25】未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒ 【H29】未就学児:41.5%、小学生:17.7%
- 体力テストの数値 :【H25】(別添のとおり) ⇒ 【H29】未就学児:6種目中6種目で向上  
小学生:8種目中7種目で向上
- 小学生以下の自主避難者数 :【H25.10】1,844人 ⇒ 【H30.10】912人
- 肥満傾向児(身長別標準体重20%超) :【H25】小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒ 【H29】小学生:10.7%、中学生:11.2%

#### (4)その他

##### ○郡山市私立幼稚園協会

・「運動能力調査にみる幼児の実態とこれからの指導法について」

講師 山梨大学教授 中村 和彦氏 平成26年6月4日

##### ・A分科会研修(運動)

「遊びの役割と大人の在り方」平成26年5月14日

「プレイリーダー(保育者)の役割」平成26年6月25日

「子どもたちの体力向上と運動遊びについて」平成26年9月3日

「保育者の役割と運動遊びの作り方とまとめ」平成26年10月15日

講師 社会福祉法人葛飾福祉会 運動保育士 堀内 亮輔氏

##### ○郡山市認可保育所長会

・「運動遊びを通しての保育所運営について」平成27年9月1日

講師 PEP Kids Koriyamaプレイリーダー 阿部 直樹氏

##### ○郡山市認可保育所主任会議 2グループ(グループ討議)

・「戸外遊びについて」平成27年9月15日

・「戸外での運動遊びについて 運動能力測定調査の結果を持ち寄って」平成27年11月24日

○11/29 市附属機関「子ども子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定

○施設の利用状況写真添付

①希望ヶ丘幼稚園、②ひまわり保育園



### 事業計画推進による効果・変化(注2)

各施設において外遊びを行う子ども達の姿が増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

遊具の安全性を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びへの対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。



(様式2)

### 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

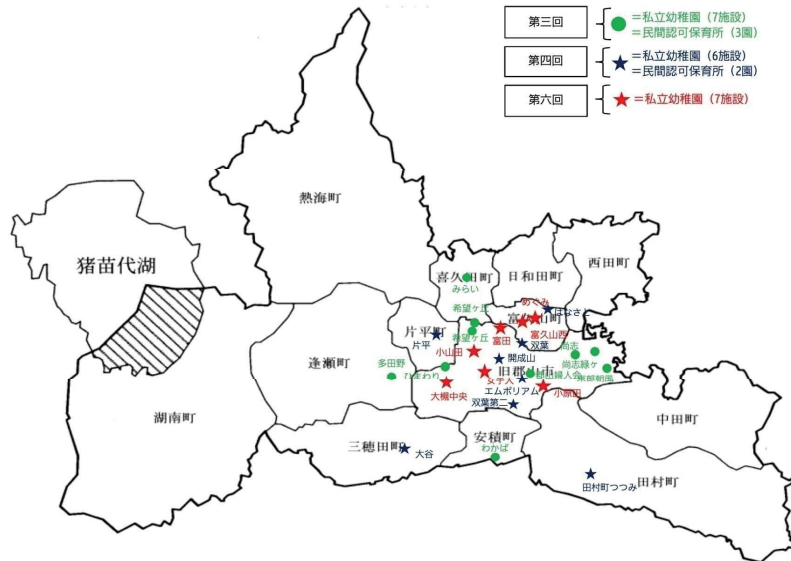
県名	福島県	交付期間	平成25～26年度	交付対象事業費	86,947
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	A-1-6

#### 1)事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内の私立幼稚園6施設及び民間認可保育所2施設における鉄棒、ジャングルジム等の遊具の更新を実施することにより、市内の子どもの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもたちの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

#### 【区域全体図】



#### 【事業詳細】

##### (1)事業概要

私立幼稚園6施設及び民間認可保育所2施設において、遊具の更新を実施することで、遊具を使用することに対する不安を解消し、原子力災害発生以前のように、思う存分運動することができる通常の保育活動を確保し、子どもたちの運動能力の回復や避難者の帰還促進を図る。

##### (2)事業の実施状況

除染及び本事業の遊具更新により児童が安心して外遊びができる環境が整い積極的に外遊びを行っている。幼稚園教諭や保育士の研修会においても運動遊びや指導法などの研修等を実施し、各施設で遊具を有効に活用して、児童の体力・運動能力の向上を実践している。また、職員在園時間のなかで遊具の地域開放を行っている。

##### (3)人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

- 遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。
- 平日に運動等を全く行わない割合 : [H25]未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒ [H29]未就学児:41.5%、小学生:17.7%
- 体力テストの数値 : [H25](別添のとおり) ⇒ [H29]未就学児:6種目中6種目で向上  
小学生:8種目中7種目で向上
- 小学生以下の自主避難数 : [H25.10]1,844人 ⇒ [H30.10]912人
- 肥満傾向児(身長別標準体重20%超) : [H25]小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒ [H29]小学生:10.7%、中学生:11.2%

##### (4)その他

- 郡山市私立幼稚園協会
  - ・「運動能力調査にみる幼児の実態とこれからの指導法について」  
講師 山梨大学教授 中村 和彦氏 平成26年6月4日
  - ・A分科会研修(運動)
    - 「遊びの役割と大人の在り方」平成26年5月14日、「プレイリーダー(保育者)の役割」平成26年6月25日
    - 「子どもたちの体力向上と運動遊びについて」平成26年9月3日
    - 「保育者の役割と運動遊びの作り方とまとめ」平成26年10月15日
- 郡山市認可保育所長会
  - ・「運動遊びを通しての保育所運営について」平成27年9月1日  
講師 PEP Kids Koriyamaプレイリーダー 阿部 直樹氏
- 郡山市認可保育所主任会議 2グループ 2グループ討議
  - ・「戸外遊びについて」平成27年9月15日、
  - ・「戸外での運動遊びについて 運動能力測定調査の結果を持ち寄って」平成27年11月24日
- 11/29 市附属機関「子ども・子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定
- 施設の利用状況写真添付  
片平幼稚園



#### 事業計画推進による効果・変化(注2)

各施設において外遊びを行う子ども達の姿が増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

#### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

遊具の安全性を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びへの対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

# 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

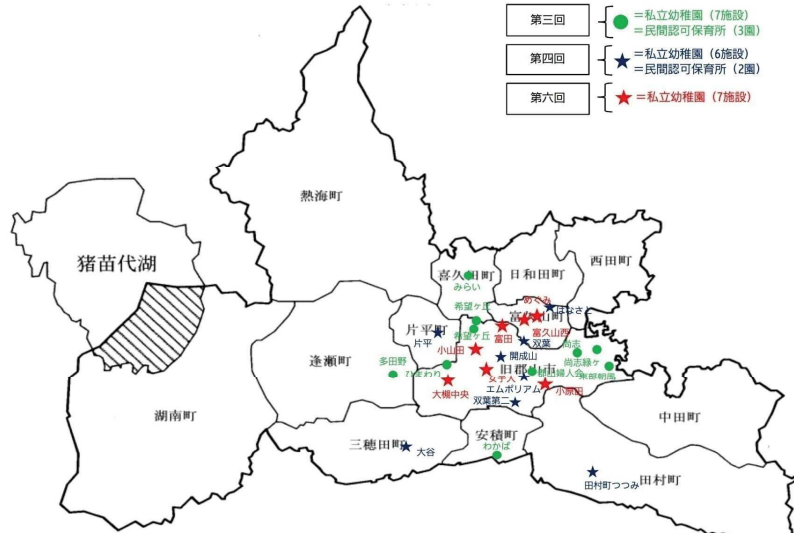
県名	福島県	交付期間	平成26年度	交付対象事業費	122,650
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	A-1-7

## 1)事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内の私立幼稚園7施設における鉄棒、ジャングルジム等の遊具の更新を実施することにより、市内の子どもの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもたちの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

### 【区域全体図】



### 【事業詳細】

#### (1)事業概要

私立幼稚園7施設において、遊具の更新を実施することで、遊具を使用することに対する不安を解消し、原子力災害発生以前のように、思う存分運動することができる通常の保育活動を確保し、子どもたちの運動能力の回復や避難者の帰還促進を図る。

#### (2)事業の実施状況

除染及び本事業の遊具更新により児童が安心して外遊びができる環境が整い積極的に外遊びを行っている。幼稚園教諭や保育士の研修会においても運動遊びや指導法などの研修等を実施し、各施設で遊具を有効に活用して、児童の体力・運動能力の向上を実践している。また、職員在園時間のなかで遊具の地域開放を行っている。

#### (3)人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。  
○平日に運動等を全く行わない割合 :【H25】未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒【H29】未就学児:41.5%、小学生:17.7%  
○体力テストの数値 :【H25】(別添のとおり) ⇒【H29】未就学児:6種目中6種目で向上  
小中学生:8種目中7種目で向上

○小学生以下の自主避難者 :【H25.10】1,844人 ⇒【H30.10】912人  
○肥満傾向児(身長別標準体重20%超) :【H25】小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒【H29】小学生:10.7%、中学生:11.2%

#### (4)その他

- 郡山市私立幼稚園協会
  - ・「運動能力調査にみる幼児の実態とこれからの指導法について」  
講師 山梨大学教授 中村 和彦氏 平成26年6月4日
  - ・A分科会研修(運動)
    - 「遊びの役割と大人の在り方」平成26年5月14日
    - 「プレイヤー(保育者)の役割」平成26年6月25日
    - 「子どもたちの体力向上と運動遊びについて」平成26年9月3日
    - 「保育者の役割と運動遊びの作り方とまとめ」平成26年10月15日
- 11/29 市附属機関「子ども・子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定
- 施設の利用状況写真添付 小山田幼稚園



### 事業計画推進による効果・変化(注2)

各施設において外遊びを行う子ども達の姿が増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

遊具の安全性を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びへの対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

# 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

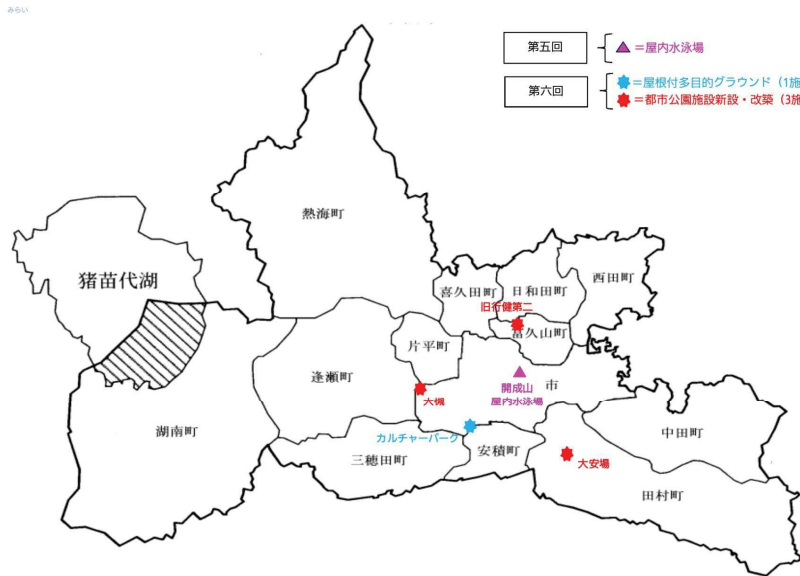
県名	福島県	交付期間	平成26～28年度	交付対象事業費	1,462,750
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	C-1-1、2

## 1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内に、地域における外遊びや運動機会の拠点となる全天候型多目的グラウンドの整備、立地等の特色を生かした既存公園2施設のリニューアル及び1施設の新規開設を行うことにより、遊具更新との相乗効果を図りつつ、市内の子どもの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもたちの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

### 【区域全体図】



### 【事業詳細】

#### (1) 事業概要

地域における外遊びや運動機会の拠点となる全天候型多目的グラウンドの整備、立地等の特色を生かした既存公園2施設のリニューアル及び1施設の新規開設することにより、原子力災害発生以前のように、思う存分運動することができる施設を確保し、子ども達の運動能力回復や避難者の帰還促進を図る。

#### (2) 事業の実施状況

①大槻公園子どもの遊び場(平成28年11月5日オープン)

体験学習施設利用者数 平成28年度 9,962人、平成29年度 17,806人、平成30年度(10月末現在) 12,090人

②八山田こども公園(平成29年2月4日オープン)

体験学習施設利用者数 平成28年度 10,749人、平成29年度 31,902人、平成30年度(10月末現在) 18,551人

③大安場史跡公園子どもの遊び場(平成29年2月4日オープン)

屋外施設のため利用者数は把握できないが、保育所、幼稚園単位での利用が多くみられる。また、隣接している史跡公園ガイダンス施設の入場者は増加している。(参考:平成28年度51,300人 平成29年度52,637人)

④郡山カルチャーパーク屋内子どもの遊び場(平成29年3月18日オープン)

体験学習施設利用者数 平成28年度 8,018人、平成29年度 92,597人、平成30年度(10月末現在) 58,263人

(3) 人口流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。

○平日に運動等を全く行わない割合 :【H25】未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒ 【H29】未就学児:41.5%、小学生:17.7%

○体カテストの数値 :【H25】(別添のとおり) ⇒ 【H29】未就学児:6種目中6種目で向上  
小学生:8種目中7種目で向上

○小学生以下の自主避難者数 :【H25.10】1,844人 ⇒ 【H30.10】912人

○肥満傾向児(身長別標準体重20%超):【H25】小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒ 【H29】小学生:10.7%、中学生:11.2%

#### (4) その他

11/29 市附属機関「子ども・子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定

①大槻公園子どもの遊び場、②八山田こども公園

③大安場史跡公園子どもの遊び場、④郡山カルチャーパーク屋内子どもの遊び場(画像左から)



## 事業計画推進による効果・変化(注2)

各施設において外遊びを行う子ども達の姿が増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

## 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

施設紹介を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な外遊びへの対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1) 様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2) 様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

(様式2)

# 個別事業等実績評価シート

平成30年12月時点

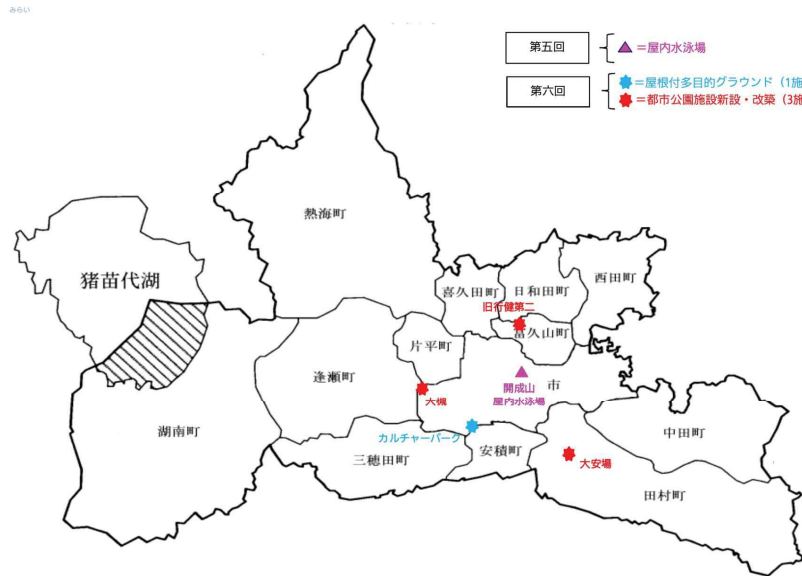
県名	福島県	交付期間	平成26～29年度	交付対象事業費	3,616,012
市町村名	郡山市	実績評価実施時期	平成30年度	評価対象事業	B-1-1

## 1)事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

郡山市内に、年間を通じ、天候に左右されることなく子どもたちへ運動機会を提供できる屋内水泳場を整備することにより、遊具更新や遊び場の整備との相乗効果を図りつつ、市内の子どもたちの放課後・休日における外遊びや運動機会の増加(目標1)を図り、子どもたちの体力向上(目標2)、健康増進(目標3)や自主避難者の帰還促進(目標4)を図る。

### 【区域全体図】



### 【事業詳細】

#### (1)事業概要

原子力災害による影響を気にせず、年間を通じて、天候に左右されることなく子どもたちの体力向上と健康増進を図るため、開成山水泳場(屋外の50mプール、25mプール、幼児プール)を屋内水泳場として整備する。

#### 〈整備内容〉

- ◆仕様
  - ・50m温水プール(10コース)
  - ・25m温水プール(8コース)※可動床設置(幼児用プールとして使用に配慮)
  - ・更衣室、医務室、事務室、機械室、見学スペース等
- ◆工程
  - ・平成26年度 基本・実施設計、既存水泳場解体工事、地質調査
  - ・平成27年度～平成29年度 本工事、附帯工事

#### (2)事業の実施状況

- ◆平成29年7月22日オープン 指定管理者制度を導入
- ◆平成29年度
  - 平成29年7月22日～平成30年3月31日の利用者数 49,478人(うち子どもの利用者数 24,968人 割合50.4%)
  - オープン年度は中学生以下の利用料金を免除した。
  - 子どもを対象とした水泳教室 延べ431回開催 延べ2,576人参加 ※人数は上記利用者数に含む。
- ◆平成30年度
  - 平成30年4月1日～平成30年10月31日の利用者数 59,865人(うち子どもの利用者数 35,659人 割合59.5%)
  - 子どもを対象とした水泳教室 延べ749回開催 延べ5,999人参加 ※人数は上記利用者数に含む。
- (3)人口流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載
  - 遊具の更新や遊び場、公園等の整備により、運動を行う機会が増加したため、運動能力等の向上が見られた。
  - 平日に運動等を全く行わない割合 :【H25】未就学児56.6%、小学生21.4% ⇒ 【H29】未就学児:41.5%、小学生:17.7%
  - 体力テストの数値 :【H25】(別添のとおり) ⇒ 【H29】未就学児:6種目中6種目で向上
  - 小中学生:8種目中7種目で向上
  - 小学生以下の自主避難数 :【H25.10】1,844人 ⇒ 【H30.10】912人
  - 肥満傾向児(身長別標準体重20%超):【H25】小学生:11.0%、中学生:10.3% ⇒ 【H29】小学生:10.7%、中学生:11.2%
- (4)その他
  - 11/29 市附属機関「子ども・子育て会議」において、外部有識者の意見聴取予定



### 事業計画推進による効果・変化(注2)

子どもの利用者数も増加傾向にあり、子どもの運動能力向上にも効果が見られた。また、小学生以下の自主避難者数が減少傾向にあり、事業計画推進による効果が見られた。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

施設紹介を広報や市ウェブサイト等により広く市民に周知し、市内全ての子どもたちの積極的な利用への対応を図るとともに、目標が達成できなかった項目については、今後もフォローアップを行う。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。